

拠出金名：日本・SAARC特別基金等拠出金

国際機関等名	南アジア地域協力連合 (SAARC) (英文名称・略称) South Asian Association for Regional Cooperation (SAARC)					
種 別	国連(事務局) 国連(基金・計画) 国連専門機関 (その他)					
所轄官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局南部アジア部南西アジア課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成17年度	0	0	0		(2005年)	-
平成16年度	0	0	0		(2004年)	-
平成15年度	0	0	0		(2003年)	-
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 250,120 ドル		
1位	日本	660	100	当該年度の支出 34,217 ドル		
2位				次年度への繰越 215,903 ドル		
3位				会計検査機関名		
4位				会計検査院		
5位				(現在の構成員の出身国：パキスタン及びバングラデシュ)		
上記の率及び順位は2001年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
我が国は、SAARCが南アジア地域の安定と発展の枠組みを提供しうる機構として重要であるとの観点よりSAARCを支援すべきと認識し、SAARCの活動とその基盤を強化するため、93年SAARC事務局内に「日本・SAARC特別基金」を設立した。これは、SAARC域外国によるSAARCに対する初めて、かつ唯一の財政支援である。また、2005年11月のSAARC首脳会議では、我が国のオブザーバー参加が原則承認されており、SAARC側の我が国との協力関係強化に向けた動きとして評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
同基金は、これまで、SAARC諸国間の交流促進を目的としたコンポーネントⅠと、日本とSAARC間の知的交流促進を目的としたコンポーネントⅡに分かれていたが、2006年2月に覚書を改訂して両コンポーネントを統合し、より機動的な運用が可能となった。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		30人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
無		無				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
無						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。